



朔風

北海道天塩高等学校
学校だより 第4号
令和2年9月28日発行

令和2年度の折り返しにあたって

9月に入って10日ほどは厳しい残暑が続きました。その後も海水温が高くて鮭やサンマといった水産資源への影響が甚大で、地球温暖化の怖さを感じています。

一方では、コロナ禍が続いている状況で自粛や配慮が定着し、ある程度の不自由さにも慣れてきました。それぞれの部活動では大会が開催され、日頃の成果を發揮できる機会をいただけてホッとしています。

スタートして間もなく全国的な臨時休業に突入してしまった困難の多い令和2年度も折り返し地点を迎えました。前期は十分な活動ができませんでしたが、後期は何とか順調に進んでほしいと誰しもが願っています。沢山の方々のご苦勞のお陰で今日を過ごさせていただいていることに感謝して、日々を大切にしたいと思えます。

5月から始まった『朔風』も第4号となりました。なかなかご覧いただけない生徒たちの活動を沢山の皆様知っていただくために、これからも情報発信に努めたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

心の健康教室

7月30日(木)、天塩町福祉課の事業の一環で、全校生徒を対象に心の健康教室を実施しました。

講師として本校のカウンセラーとしてもご尽力いただいている社会福祉士の小野先生と臨床心理士の笹村先生をお招きし、「自分を大切にすることはどういうことか」「不安やなやみとどう付き合っていくか」についてご講話をいただきました。

つらくなったときには人に頼ることが大事であり、人に助けを求める力「受援力」が必要であること、生きていくなかで人に頼ることが自分にとっても相手にとっても極めて重要であり、この「受援力」を身に付けることが成長のあかしであり、さらにはその不安や悩みを経験することが心を豊かにし、自分も相手も大切にすることができることを学びました。

この健康教育をきっかけに、一人で苦しいときは助けを求めることができるようになってほしいと願います。これからも、本校生徒が健やかに成長していけるよう専門機関と連携しながら心の健康教育に取り組んでいきたいと考えています。



天高CAMP

大学進学を志す者にとって、夏休みは受験の天王山

とよばれるほど大事な時期です。その時期を有意義に過ごし、少しでも志望校合格へ近づくように生徒一人ひとりの頑張りをサポートするため、勉強合宿『天高CAMP』を8月1日(土)～4日(火)に行いました。

新型コロナウイルスの影響もあり、今年は宿泊なしで実施しました。100分×5コマの講習を4日間みっちり行うという厳しい日程ですが、5名の参加者は暑さにも負けず、意欲的に取り組んでいました。天高CAMP終了の翌日には模擬試験に挑み、学習の成果を試しました。

夏季休業が短縮されるなか、受験生たちは勉強漬けの毎日を送ることができたと思います。夏季休業が終わり1か月経ちましたが、受験生たちは夏休みの勢いそのままに学習に励んでいます。学校としても最大限のサポートを継続して、生徒とともに喜びの春を迎えたいと思えます。



弓道新人戦で活躍

9月12日(土)、士別神社弓道場で開催された新人戦名寄支部予選で、齊藤さんが女子個人優勝、女子団体が優勝、男子団体が3位と日頃の練習の成果をいかに発揮しました。個人戦でも活躍し、次の入賞者と女子団体は10月3～4日に帯広市で行われる全道大会の出場権を獲得しました。

男子個人	女子個人
2位 長山 柊太(2年)	1位 齊藤亜衣奈(2年)
4位 門田 翔真(1年)	2位 守屋 亜依(2年)
	4位 石橋 采峰(2年)

女子個人1位の齊藤さんは、「とてもうれしいです。全道でもよい成績を残せるように頑張ります。」部長の長山君は、「全道大会に全員で行けることができうれしいです。悔いのない良い射をできるよう練習を頑張ります。」と、力強く抱負を語ってくれました。



年金講座

9月16日(水)、3年生を対象に年金講座を実施しました。

年金という言葉聞いたとき、漠然と老後にももらえるお金だという知識はありますが、まだまだ自分には関係のない話だと感じる生徒も多いようです。今回の年金講座で、生徒たちは年金に対する認識を改めるとともに、基礎的な年金の知識を学びました。

生徒たちから疑問点として多く挙げられたのが、年金は何歳から受給されるのか、どうやって何歳から納付していくのか、自分たちが高齢者になるころには本当に年金をもらえるのかといった点です。そういった一つひとつの疑問を解決していくことで、年金に対する理解が深まりました。

また、年金手帳がもらえることや、年金にも様々な種類があることなど、普段なかなか知る機会のないことについても学ぶことができました。新たな知識を身につけていくうちに、生徒たちは年金が身近なものとして感じるようになったようです。



幼児交流学習

1年生の家庭基礎の授業で「幼児との触れ合いを通して生命の大切さや尊さを学び、豊かな人間性を養う」



ことを目的として、天塩町の保健師さんと認定こども園「おひさま」さんにご協力いただき幼児交流学習会を行いました。天塩町スポーツセンターにおいて、9月16日(水)は1年A組22名と園児18名、17日(木)は1年B組21名と園児12名が参加して、子どもたちを楽しんでもらおうと授業で作ったボールプールや輪投げ、乗り物などのおもちゃで一緒に遊んだり、しっぽ取り鬼ごっこなどで交流しました。

「私たちの作ったおもちゃで元気に遊んでくれる子どもたちがとてもかわいかった。」や「子どもたちが楽しめるように準備をしてきて、子どもたちも私たちも楽しめていい経験になりました。」「子どもたちと触れ合うことで幼児との関わり方についてたくさん学べました。」などの生徒たちの感想も聞かれ、良い経験となりました。

教育実習

9月7日(月)～18日(金)までの2週間、本校の平成29年卒業生の佐藤祐希先生(北海学園大学法学部4年生、遠別中学校出身)が教育実習を行いました。HRは1年A組、授業は1年生の世界史A、3年生の探求日本史を担当しました。



発問を中心とした授業づくりに苦勞しながらも多くのことを学び、大切な思い出を得ることができたということで、生徒のみなさんへのメッセージをいただいています。「HRクラスである1年A組の生徒のみなさんへは感謝と同時に、寂しさでいっぱいです。初めは少し距離を感じていましたが、授業やSHRを行う中で打ち解け始め、1週目が終わる頃にはクラスに行くのが本当に楽しみになっていました。昼休みも教室で話をしたり、幼児交流学習に付き添う中でみなさんとの距離が縮めることができました。これからもっと話をしていこうと思ったところで実習の終わりを迎えてしまい、離れてしまうことが本当に寂しく、最後の瞬間まで涙が止まりませんでした。A組のみなさんは最終日に輪になり昼食を食べる機会を設けてくれたりと、心優しい生徒ばかりです。A組のみなさんと出会えたことは一生の思い出です。またどこかで会えたらいいなと思います。ありがとうございました。」

野球秋季大会で準優勝

9月18日(金)～21日(月)、稚内市大沼球場で行われた秋季名寄支部予選に豊富高校との合同チームで参加し、全道大会まであと一歩に迫る準優勝と健闘しました。

本校野球部は、選手7名、マネージャー3名で大会出場人数に達しておらず、今大会は豊富高校



の選手4名と合同し出場しました。人数が少ないからできないではなく「少ないからこそできること」を考えてチーム作りを進めました。日頃一緒に活動することが難しくコミュニケーションの面では苦勞しましたが、「好きこそもの上手なれ」という言葉があるように、試合で感じたことを共有し次に向けて努力を重ね練習試合ごとにチームとしての成長を実感しました。

結果として、名寄支部初の連合チームによる勝利を挙げて、準決勝も辛勝し、決勝戦でもあと一歩の所で戦い抜くことができました。両校選手にとっていい経験を積めました。同じ野球を経験していたことから出会い、学び合い、喜びを分かち合うことができたと思います。今後は来春の単独出場での勝利を目指し、今回学んだ経験を存分にいかし邁進していきます。

10月の主な行事予定

1日	木	後期始業式 生徒会役員認証式 後期HR役員選出 身だしなみ指導 天塩高校交通安全の日
2日	金	スポーツフェスティバル
7日	水	3学年租税教室
10日	土	高P連留萌支部研究大会当番校 「高校生と語るつどい」
15日	木	道民交通安全の日
20日	火	1学年胸部X線・心電図検査
23日	金	宿泊研修結団式
25日	日	宿泊研修～27日(火)
28日	水	1学年振替休日
30日	金	開校記念日